

高齢者における胃癌に対する鏡視下手術の安全性の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年では進行癌に対しても、開腹手術のみではなく、お腹に穴を開けて行う鏡視下手術が施行されていますが、高齢の患者さんの場合は、手術時間が長くなる影響を考慮して手術方法の選択に苦慮することもあります。本研究の目的は高齢者における鏡視下手術の安全性を明らかにすることで、より安心して患者さんに医療を受けていただくことを目的とした研究です。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021年1月から2025年7月までに当科で残胃癌を除く胃癌および食道胃接合部癌に対して腹腔鏡下胃切除(LG)もしくはロボット支援下胃切除(RG)を施行した81例を対象とします。

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、術式、手術時間、出血量、術後在院日数、合併症の有無、合併症の内容など

使用開始予定日：2025年10月31日

研究予定期間

2025年10月31日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 外科 八木泰佑

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 八木泰佑

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)